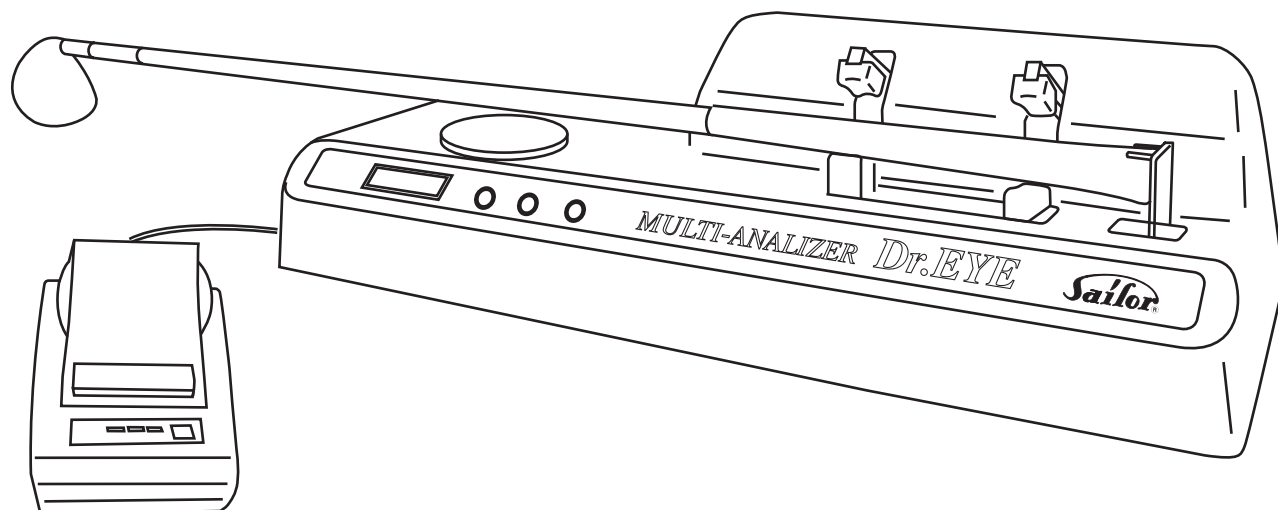


Sailor[®]

ゴルフクラブ測定装置

MULTI-ANALYZER **Dr.EYE**

取扱説明書 (第3版)



目次

はじめに	1
安全上のご注意	1
ご使用前に	3
設置場所	3
各部の名称とはたらき	4
測定の準備	5
正確な測定のために	5
出力モードの選択	6
クラブのセット方法	6
ゴルフクラブの測定を行う	
バランスモード	7
重量モード	7
振動数モード	8
マルチモード	8
PC出力	9
専用プリンターの使い方	10
ご注意	12
測定が終わったら	12
お手入れのしかた	12
保管のしかた	12
故障かな?と思ったときは	13
仕様	13

はじめに

このたびは、ゴルフクラブ測定装置 マルチアナライザーDr. EYEをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。

表示と意味は次のようになっています。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



誤った取り扱いをすると、人が損害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

* 物的損害とは、家屋・家財及び家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。



警告

改造をしないこと また、分解したり修理をしないこと

火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または、弊社
ゴルフ商品課にご相談ください。

装置のすきまにピンや針金などの 金属物、異物、手などを入れない こと

感電や異常動作してけがをしたり、装置
が故障する場合があります。

コードを傷つけたり、破損したり、 無理に曲げたり、引っ張ったり、 ねじったり、また、重い物をのせたり、 挟み込んだり、加工したりしないこと

コードが破損し、火災・感電の原因になります。

コンセントプラグをなめさせない こと 乳幼児が誤ってなめないように 注意すること

感電やけがの原因になります。

交流100V以外で使用しないこと

火災・感電の原因になります。

火気に近づけないこと

火災の原因になります。

定格15A以上のコンセントを 単独で使用する

他の器具と併用すると分岐コンセント部が
異常発熱して発火することがあります。

水につけたり、水をかけたり しないこと

ショート・感電の恐れがあります。

コードや差込みプラグが傷んだり、 コンセントの差し込みがゆるい ときは使用しないこと

感電・ショート・発火の原因になります。

お手入れの際は、必ず差込み プラグをコンセントから抜くこと また、ぬれた手で抜き差しし ないこと

感電やけがをすることがあります。



注意

差込みプラグを抜くときは、コードを 持たずに必ず先端の差込みプラグ を持って引き抜くこと

感電やショートして発火することがあります。

使用時以外は、差込みプラグを コンセントから抜くこと

けがや絶縁劣化による感電・漏電
火災の原因となります。

不安定な置き場所には置かないこと

転倒するとけがをしたり、装置の故障の
原因となります。

機械動作中は、装置のすきまに 物や手を入れないこと

けがをしたり、装置の故障の原因と
なります。

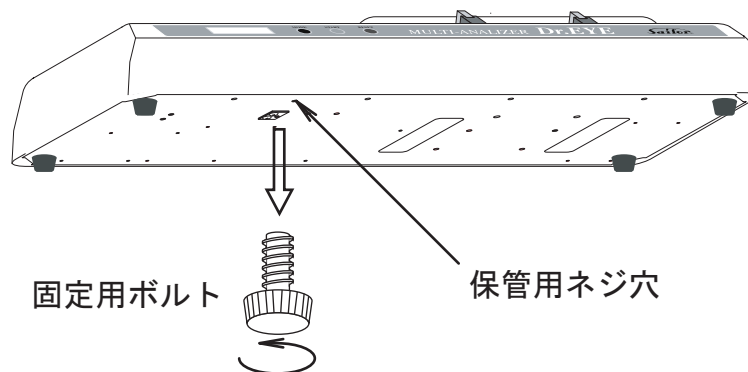
ご使用前に

梱包ケースには、次の部品が入っています。

・マルチアナライザーDr. EYE本体	1台	
・保証書／ユーザー登録カード	1枚	
・マルチアナライザーDr. EYE取扱説明書（本書）	1冊	
・シチズンCBM社製プリンター CBM-270-RJ100-L	1台	} ※オプション
・プリンター取扱説明書	1冊	
・プリンター電源ケーブル	1本	
・プリンター通信ケーブル	1本	
・プリンター用ラベル紙	1巻	

・ 固定用ボルト

輸送時のセンサー破損防止のため、出荷時、本体底には、センサー固定用ボルトが取り付けられています。開封されましたら、まず、このボルトを取り外してからご使用ください。



なお、この固定用ボルトは、輸送時の衝撃からセンサーを守るために必要な部品です。

紛失しないよう保管して、輸送・搬送の際には、本体に再び取り付けてください。

（取付位置のすぐ横に保管用のネジ穴が開けてあります。取り外したボルトは、このネジ穴に差し込んでおくことができます。）

※なお、本製品は、精密機器ですので、輸送はできるだけお避けください。

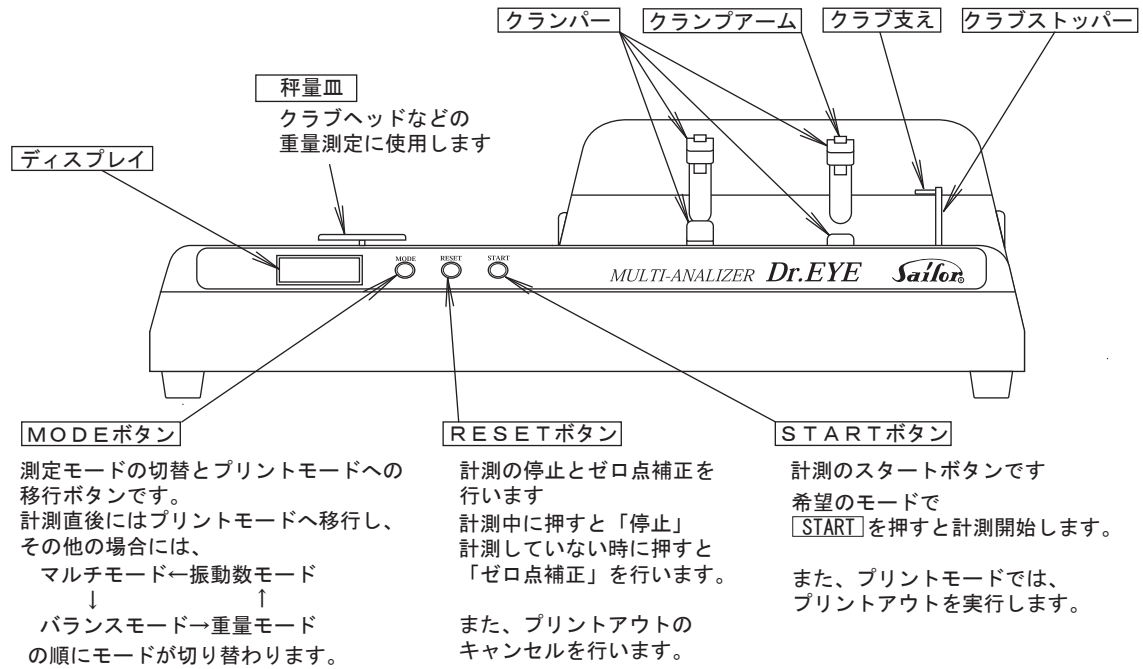
過度の衝撃が加わるとセンサーが破損する場合があります。

設置場所

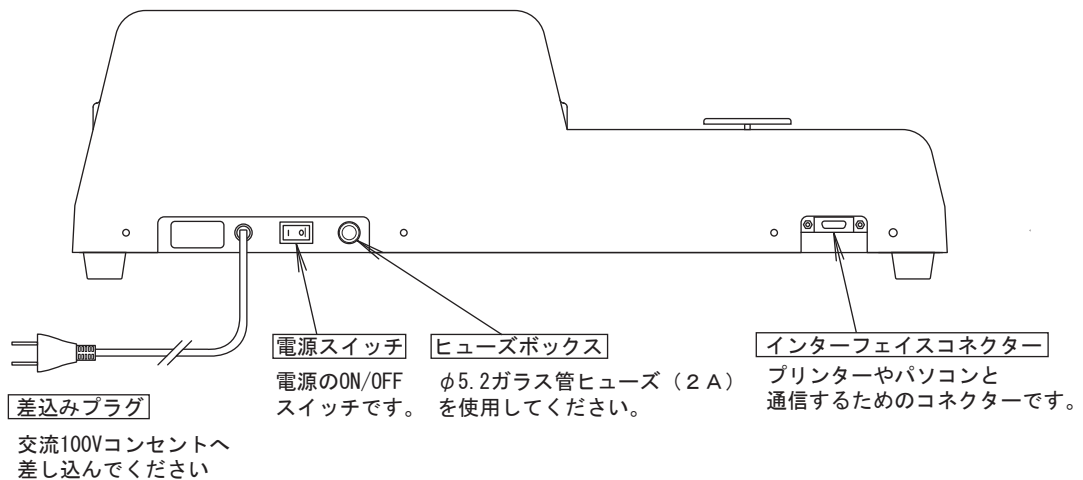
- ・ 気温20～25℃、湿度50～70%で、温度変化の少ない室内が理想的な設置環境です。
- ・ 振動の少ない、水平で安定した場所に設置してください。
- ・ 換気のよい、ほこりの少ない場所に設置してください。
- ・ 温度変化が少ない場所に設置してください。
- ・ エアコンの近くには設置しないでください。
- ・ 直射日光のあたらない場所に設置してください。
- ・ 磁気を帯びた機器の近くには設置しないでください。
- ・ 高温、高湿度または低温、低湿度的环境下には設置しないでください。

各部の名称とはたらき

前面



背面



測定の準備

- ① 差し込みプラグをコンセントに差し込みます。
- ② 本体背面の電源スイッチをONにします。
ディスプレイに初期画面が表示されます。しばらくするとゼロ点補正が実行され、「Output Select?」と表示されると測定準備完了です。
- ③ およそ15分間の暖機を行ってください。

ご注意

電源投入時には、データの初期設定を行いますので、ゴルフクラブや秤量皿の上の重量物が載っていない状態で電源を投入してください。

正確な測定のために

●暖機運転

本品は、通電を開始してからセンサーが安定化するまでに、約15分間の暖機が必要です。正確な測定を行うためには、測定開始前に、この暖機を行ってください。

●ゼロ点補正

本品に使用している重量センサーには、気温の変化など周囲環境の変化により、基準となるゼロ点が、若干変動してしまう性質があります。このため、本品には、1分おきにゼロ点を自動補正する機能がついています。

しかし、この機能は、測定中など重量物が装置に乗っている場合には働きません。また、環境変化が激しいと1分おきでは不十分な場合もあります。そこで、重量やバランスを正確に測定するために、測定直前にゼロ点補正を行うことをおすすめします。

ゼロ点補正は、以下の手順で行います。

(ゼロ点補正の方法)

- ① 装置から、クラブなど重量物を取り除く。
- ② **[RESET]** ボタンを押すとゼロ点補正を開始します。

ご注意

ゴルフクラブをセットした状態など、装置に物が載った状態で起動やゼロ点補正を行うと、エラーとなり、「Remove Club」と表示されます。この場合には、物を取り除いて、もう一度ゼロ点補正を行ってください。

出力モードの選択

電源を入れると、下の画面が表示されます。

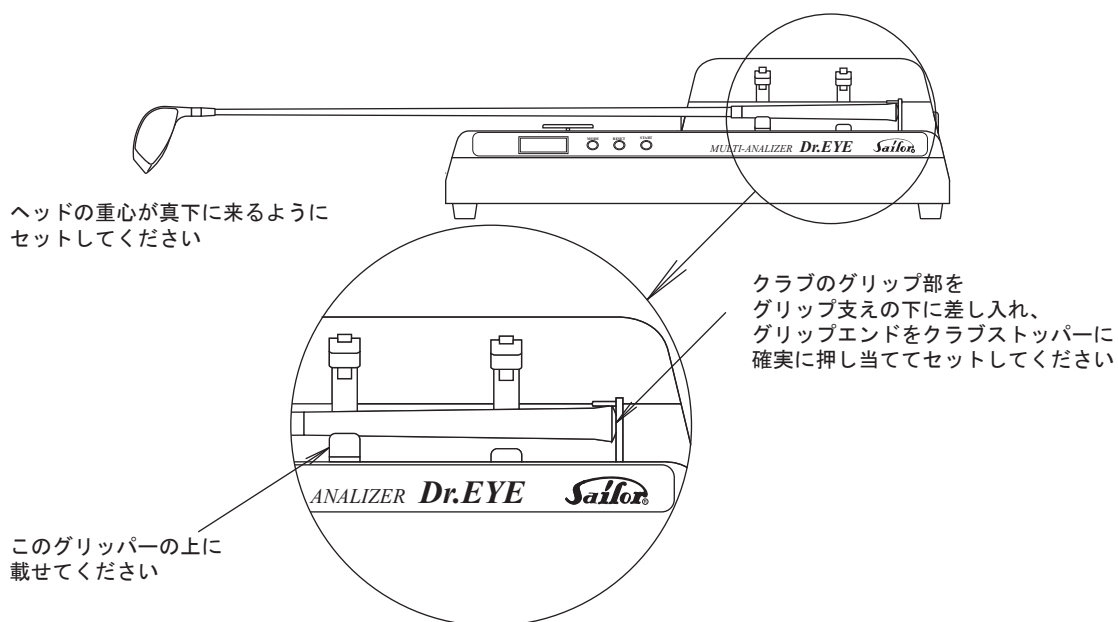
Output Select?
N:Md PC:Re PR:St

ここで、**MODE** を押すと、出力なしモード、
RESET を押すと、PC出力モード、
START を押すとプリンターモードとなります。

PC出力モード、プリンターモードでは、測定終了時に **MODE** を押すことにより、出力画面に移行できます。
出力なしモードでは、この画面は表示されません。

クラブのセット方法

クラブは、下図のようにセットしてください。



ご注意

- ・センサーは、衝撃に弱いため、クラブは、できるだけ静かに置いてください。
- ・ゴルフクラブをセットした状態では、クラブは装置から大きくはみ出ます。
装置の近くを通る際には、ゴルフクラブを引っかかないようにご注意ください。

ゴルフクラブの測定を行う

1. バランスモード

バランスモードでは、ゴルフクラブのバランス（スイングウェイト）を測定します。
測定は14インチ法に基づいています。
測定値は、0.1刻み（A～E）で表示されます。
A未満のものは-0.0、Eを超えるものは+0.0と表示されます。

手順

- ① ゴルフクラブを正しくセットする。
（→クラブのセット方法を参照下さい）

選択画面

```
Balance mode
Push ' Start '
```

- ② **MODE** ボタンでバランスモードを選択する。

- ③ **START** ボタンを押す。
測定が開始されるとディスプレイが点滅し、
計測値が表示されます。
計測値が安定すると点滅が止まり、測定値を表示します。

測定終了画面（例）

```
Balance
D 0.0
```

- ④ 測定を中断させたい場合、**RESET** ボタンを押す。
もう一度測定したい場合や新たに別のクラブを測定したい場合には、**START** ボタンを押す。
測定値を印刷したい場合、**MODE** ボタンを押す。（8ページ：専用プリンターの使い方参照）

- ⑤ 測定終了後、別の測定モードで測定を行いたい場合には、一旦、**MODE** ボタンで
プリントモードに移行して、プリントアウトをキャンセル（**RESET** ボタン）した後、
再度、**MODE** を押してください。

2. 重量モード

重量モードでは、ゴルフクラブの全重量を測定します。
測定値は、g単位（1g刻み）で表示されます。

手順

- ① ゴルフクラブを正しくセットする。
（→クラブのセット方法を参照下さい）

選択画面

```
Weight mode
Push ' Start '
```

- ② **MODE** ボタンで重量モードを選択する。

- ③ **START** ボタンを押すとリアルタイムの計測値が表示されます。
RESET ボタンを押すとゼロ点補正や風袋引きができます。

測定画面（例）

```
Weight
350g
```

- ④ 測定を中止させたい場合、**RESET** ボタンを押す。
測定値を印刷したい場合、**MODE** ボタンを押す。（8ページ：専用プリンターの使い方参照）

- ⑤ 測定終了後、別の測定モードで測定を行いたい場合には、一旦、**MODE** ボタンで
プリントモードに移行して、プリントアウトをキャンセル（**RESET** ボタン）した後、
再度、**MODE** を押してください。

ご注意 5g以下の重量では正確な測定値が得られない場合があります。

3. 振動数モード

振動数モードは、ゴルフクラブのグリップエンドから7インチの場所を一定の圧力でクランプしてゴルフクラブに振動を与え、1分間あたりの振動回数を測定します。測定値は、CPM単位（1刻み）で表示します。

手順

- ① ゴルフクラブを正しくセットする。
(→クラブのセット方法を参照ください)
- ② **MODE** ボタンで振動数モードを選択する。
- ③ **START** ボタンを押す。
測定が開始されるとディスプレイが点滅します。
点滅が止まると測定値を表示します。
- ④ 測定を中断させたい場合、**RESET** ボタンを押す。
もう一度測定したい場合や新たに別のクラブを測定したい場合には、**START** ボタンを押す。
測定値を印刷したい場合、**MODE** ボタンを押す。(プリンターモード、PC出力モード選択時)
- ⑤ 測定終了後、別の測定モードで測定を行いたい場合には、一旦、**MODE** ボタンでプリントモードに移行して、プリントアウトをキャンセル (**RESET** ボタン) した後、再度、**MODE** を押してください。(プリンターモード、PC出力モード選択時)

* うまく振動数を測定できなかった場合には、右図のようなエラーメッセージを表示します。

選択画面

Frequency mode
Push 'Start'

測定終了画面 (例)

Frequency
270 CPM

エラーメッセージ

Frequency error

メモ クラブによっては、自動で振動しにくいものがあります。この場合には、クランプ直後に手でかるく振動を与えて測定してみてください。
ただし、けがをしないよう、また、クラブ・装置の破損にくれぐれもご注意ください。

お願い ゴルフクラブをクランパーの上に乗せていない状態での運転は故障の原因となりますので絶対に行わないで下さい

4. マルチモード

マルチモードは、ゴルフクラブの全重量、バランス（スイングウェイト）、振動数の3特性を連続測定するモードです。

手順

- ① ゴルフクラブを正しくセットする。
(→クラブのセット方法を参照下さい)
- ② **MODE** ボタンでマルチモードを選択する。
- ③ **START** ボタンを押す。
測定が開始されるとディスプレイが点滅します。
計測値が安定すると測定値を表示して次の測定へ移行します。
振動数測定が終了すると3特性の測定が終了となります。
- ④ 測定を中断させたい場合、**RESET** ボタンを押す。
もう一度測定したい場合や新たに別のクラブを測定したい場合には、**START** ボタンを押す。
測定値を印刷したい場合、**MODE** ボタンを押す。(プリンターモード、PC出力モード選択時)
- ⑤ 測定終了後、別の測定モードで測定を行いたい場合には、一旦、**MODE** ボタンでプリントモードに移行して、プリントアウトをキャンセル (**RESET** ボタン) した後、再度、**MODE** を押してください。(プリンターモード、PC出力モード選択時)

選択画面

Multi mode
Push 'Start'

測定終了画面 (例)

W: 350g B: D0.0
F: 270 CPM

PC出力

電源立ち上げ時にPC出力を選択すると、専用のソフトウェア(Dr. EYE Professional 等)の全ての機能が使用可能となります。

*ソフトウェアはオプション対応品です。

*ソフトウェアの機能、設定方法についての詳細説明は、各種ソフトウェアの取扱説明書を参照ください。

PC出力の手順

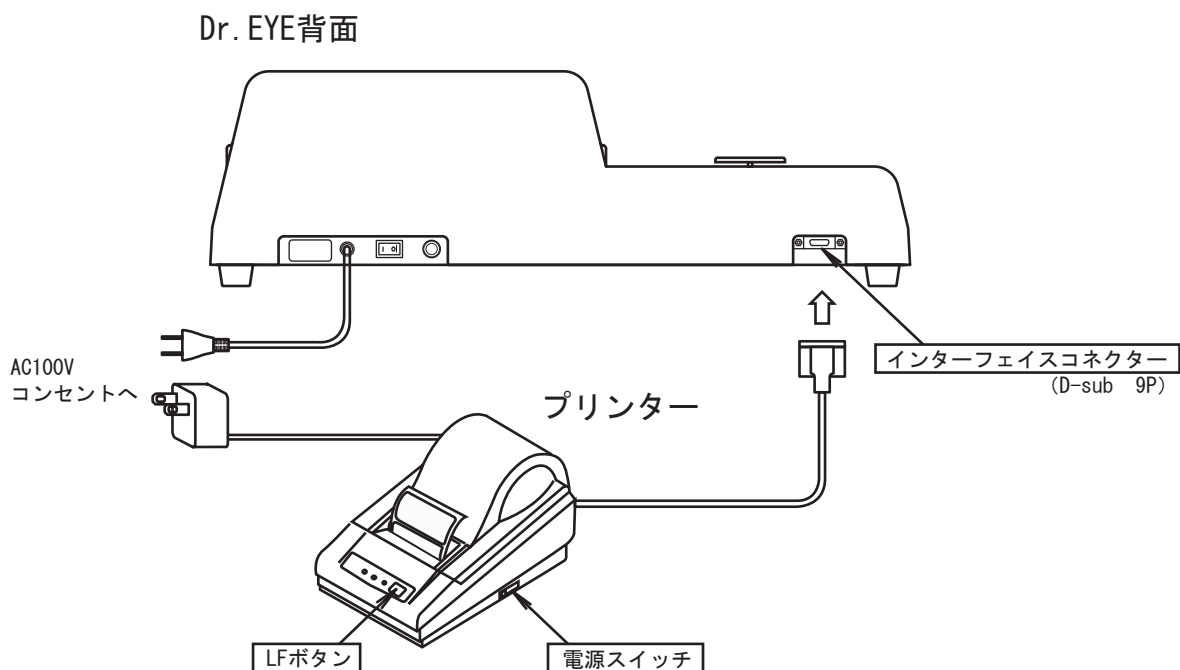
- ① マルチモードを選択します。
(注) マルチモード以外では対応しておりません。
- ② 測定を行います。
- ③ 測定値が全て表示されたら自動的にPC側へ測定値を出力します。
(注) Error が出た場合は出力しません。

専用ラベルプリンターの使い方

本機を専用ラベルプリンターと接続すると、測定データをタックラベルにプリントアウトすることができます。

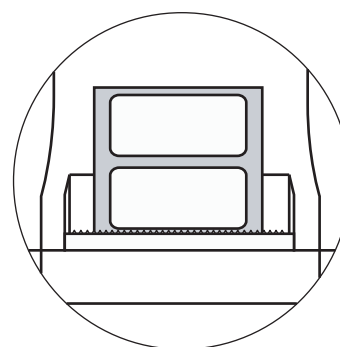
プリンターの接続

プリンターとDr. EYE背面のインターフェイスコネクタを付属の通信ケーブルで接続してください。
プリンターおよびDr. EYEの電源プラグをそれぞれAC100Vのコンセントに接続してください。



プリンターの準備

- ① Dr. EYE本体の電源を入れてください。
- ② プリンターの電源スイッチをONにしてください。
プリンターがラベルの頭出し動作を開始し、
ラベル送り（2枚）を行います。
※ ラベル2枚が使えなくなりますが、ロールを逆方
向へ送ることはできません。ご了承ください。
- ③ プリンター前面パネルの **LF** ボタンを2回押し、
印字位置の補正を行ってください。



ラベルは、大体、上図の位置にきます。

メモ

- ・この印字位置補正は、電源を入れた際に、最初のラベル1枚を行補正するために行うものです。
一枚印字を行うと、次のラベルからは自動補正されますので、位置補正の必要は、ありません。
- ・標準ラベル用紙は、型番：RP5880L です。ご注文の際は、弊社までご連絡ください。

プリントアウトの手順

- ① 測定を行います。
- ② 測定終了後、
画面に測定データが表示されている状態で、
MODE ボタンを押すと、右図の
プリントアウト選択画面が表示されます。
- ③ **START** を押すと測定値がプリントアウトされます。
RESET を押すと測定終了画面に戻ります。
- ④ プrintアウトが終了すると、プリントアウトの
再選択画面が表示されます。この画面で
START を押すともう1枚プリントアウトできます。
RESET を押すと、測定終了画面に戻ります。
- ⑤ もう一度測定したい場合や新たに別のクラブを測定したい場合には、
START ボタンを押してください。
モードを変更したい場合には、 **MODE** ボタンを押してください。

プリントアウト選択画面

Print Out ? Y:start N:reset

プリントアウト再選択画面

Print Again ? Y:start N:reset

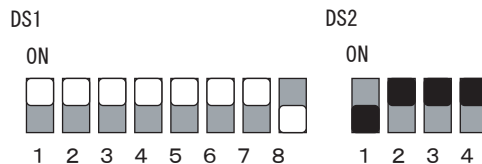
ご注意

- ・ **RESET** を押して、一度プリントアウトモードを終了すると再印刷はできません。
印刷しなおしたい場合は、再測定から行ってください。

ディップスイッチの設定

ラベル紙からサーマル用紙に切り替えたい場合や印字濃度を調節したいときには、
プリンターのロール紙の下にあるディップスイッチを設定する必要があります。
このディップスイッチの出荷時の設定は下の通りです。

ディップスイッチの出荷時設定



ディップスイッチ設定の詳細につきましては、プリンター取扱説明書第5章をご参照ください。

ご注意

- ・ 基本的に、DS-1の3, 4, 5以外の設定は変更しないでください。印字不能の原因となります。
- ・ プリンターは、シチズンCBM（株）製 CBM-270-RJ100-L をご使用ください。
他のプリンターは、ご使用になれません。

ご 注 意

故障、誤動作、測定誤差の原因となりますので、以下に示す取り扱いを必ずお守りください。

- ・装置を水につけたり、かけたりする行為は絶対に行わないでください。
- ・装置の上に、飲み物など液体の入った容器を置かないでください。
- ・装置を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- ・精密機器であるため持ち運ぶときは本体の下を両手で持ち上げて運んでください。
- ・装置に取付けてある部品は、絶対に触ったり、分解しないでください。
- ・仕様を示してある以上の重さの物は載せないでください。

- ・ゴルフクラブをセットした状態では、クラブは装置から大きくはみ出ます。装置の近くを通る際には、ゴルフクラブを引っかけないようにご注意ください。

- ・測定中、装置に触れますと測定値が変化してしまいますのでご注意ください。

測定が終わったら

測定が終わったら、クランパーや秤量皿の上の物（ゴルフクラブやヘッド等）を取り除き、本体背面にある電源スイッチをOFFにしてください。差込みプラグをコンセントから確実に抜いてください。

注 意

使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜くこと
差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜くこと

お手入れのしかた

柔らかい布で空拭きして下さい。
本体の汚れがひどい場合、薄めた中性洗剤溶液を布につけて拭取り、空拭きして下さい

ベンジン・シンナー・アルコール・アルカリ洗剤・クレンザーなどを
使用すると本体が変質・変色する場合がありますので使用しないでください。
本体を直接水で洗うことは、故障の原因、感電の恐れがありますので
絶対に行わないでください。

警 告

水につけたり、水をかけたりしないこと
お手入れの際は、必ず差込みプラグをコンセントから抜くこと。
また、ぬれた手で抜き差ししないこと

注 意

差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って
引き抜くこと

保管のしかた

- ・お願い事項に記載した場所、環境下で保管してください。
- ・長期間使用されない場合、包装箱に入れるか、ポリ袋をかぶせて保管してください。

故障かな？と思ったときは

修理を依頼する前に、次の点をお調べ下さい。
それでも正常に動作しない場合は、弊社ゴルフ商品課までご相談下さい。

症 状	調べるところ
画面がつかない	電源コードは正しく接続されていますか？
	仕様電源は間違っていないですか？
	電源コードがキズついていませんか？
	ヒューズボックス内にヒューズが入っていますか？
	ヒューズが切れていませんか？
測定値がおかしい	正しい環境下に設置してありますか？
	ゼロ点補正を行って見ましたか？
	ゴルフクラブ等が正しくセットされていますか？

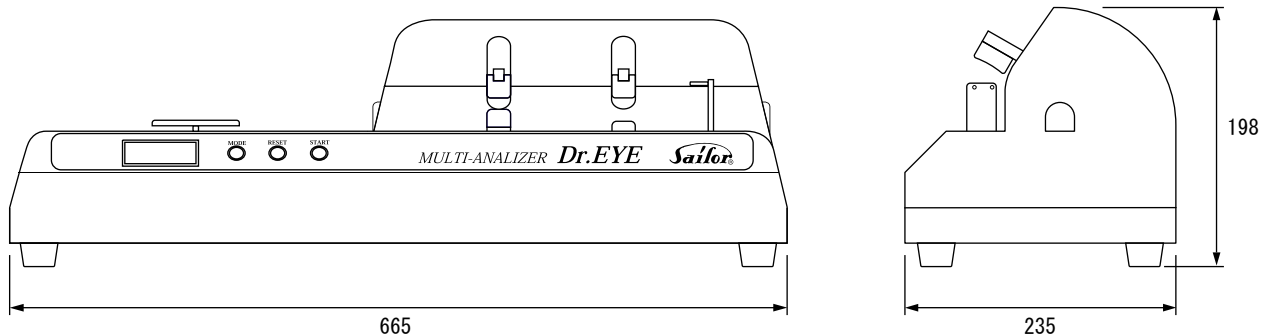
仕様

ドクターアイ本体

電 源	A C (交流) 100V ~ 230V 35W
本 体	L 665 × W 235 × H 198 16ビットCPU、液晶ドットマトリックス表示
測定項目	重量 5~2000g (最小単位1g) バランス (スイングウエイト) A0.0~E9.9 (最小単位0.1) 振動数 120~480CPM (最小単位1 CPM)
測定モード	各単独測定モード、マルチモード
測定時間	約25秒 (マルチモード測定時)
重 量	約11kg

プリンター

電 源	A C 100V 印字時15W
サ イ ズ	L 106 × W 183 × H 110
印字方式	ラインサーマルドット式
通信方式	シリアルインターフェース (RS232C準拠)
用 紙	サーマルラベル紙：幅 58 × ロール径 φ80 ラベル：幅 56 × 縦 25 mm



商品の修理・お取り扱い方法などのお問い合わせ

ゴルフ商品課	TEL	0428-31-8711
	FAX	0428-31-8717
	E-mail	info@robot.sailor.co.jp

セイラー万年筆株式会社 **ロボット機器事業部**

東京都青梅市新町6-15-27 (〒198-0024)

URL <http://www.sailor.co.jp>

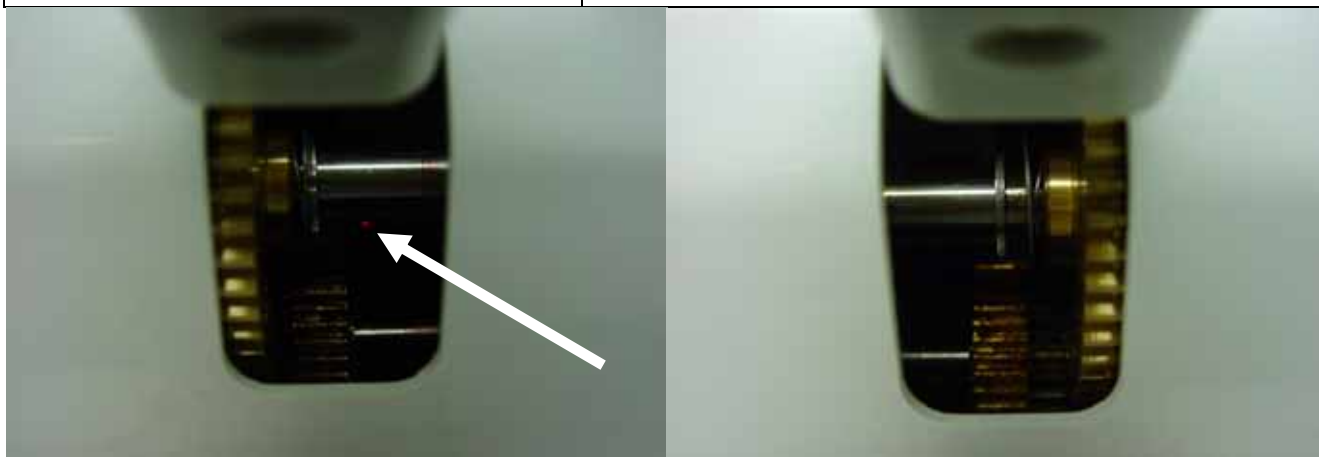
お断りなく仕様などを変更することがありますのでご了承ください。

異常表示内容、異常原因及び処置方法一覧

本品に異常が発生した時は、液晶画面にエラーメッセージが表示されます。弊社にご相談する前に症状をご確認下さい。

異常表示内容	異常原因及び処置
<p>Frequency error.</p>	<p>振動数測定中に発生するエラーです。 振動をうまくひろえなかった、測定中にクラブに触れてしまった、本品を設置している作業台上から力をかけてしまった場合等の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ START ボタンを押して再度、測定を行って下さい。 ・ クランプ直後、クラブがきちんと揺れているかを確認して下さい。 ・ クラブによっては揺れにくいものもありますのでその場合は、クランプ直後に手で軽く振動を与えて測定を行ってください。あまり強く振動を与えますとクランプ解除後にクラブストッパー、クラブ支えからクラブが落下する場合がありますのでご注意下さい。 ・ 本体底にある固定用ボルトが外してあることを確認して下さい。マルチモードの場合は、重量、バランスが異常値となりますので判断が可能です。 ・ 作用板（クラブストッパー、クラブ支え等が取付けてあり、クラブを載せるためのもの）が輸送時の衝撃等で位置ズレをおこし、本体カバーに接触していないか確認して下さい。接触していた場合は作用板を手で内側に少しだけ動かしてみてください。 ・ これらの処置でも解決しない場合は弊社までご相談下さい。
<p>Remove Club Push Reset.</p>	<p>ゼロ点補正時に発生するエラーです。重量モード以外でゼロ点補正をしたい時に、秤量皿や作用板の上にクラブやヘッド等が載っている場合等の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秤量皿や作用板の載っているクラブやヘッドを取り除いて RESET ボタンを押して下さい。 ・ 電源投入直後にこのメッセージが表示され、RESET ボタンを押し、数回繰り返してもメッセージが解除されない場合は重量センサーの破損です。弊社までご連絡下さい。
<p>SEN1 NG Reswitch On Power Supply.</p>	<p>電源投入後、機械の原点出しの際に発生するエラーです。SEN1 の近接スイッチの ON,OFF がうまく切り替わらないために発生することが原因と考えられます。 また電源を切った後、すぐに電源を入れ直した時に発生することもあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ すぐに電源を入れ直した時に発生した場合は、再度電源を入れ直して下さい。この時は、電源を切って 5~10 秒程度の時間をおいてから行って下さい。 ・ この処置でも解決しない場合は、近接スイッチの破損、近接スイッチのコネクタが外れている又は近接スイッチの線が断線している等のいずれかです。このセンサーは本体カバー内にあり、外側から判断することはできませんので弊社までご連絡下さい。

異常表示内容	異常原因及び処置
SEN2 NG Reswitch On Power Supply.	<p>電源投入後、機械の原点出しの際に発生するエラーです。SEN2 の近接スイッチの ON,OFF がうまく切り替わらないために発生することが原因と考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> この近接スイッチはクランプアームの左側に取付けてあります。本体カバーとクランプアームの間に少し隙間があり、ここから近接スイッチの点灯状態が確認できます。電源を入れ、クランプアームが原点出し動作を行った後の近接スイッチの点灯状態を確認して下さい。問題ない場合は、近接スイッチが赤く点灯します。 赤く点灯しない場合は、近接スイッチの破損、近接スイッチのコネクタが外れている又は近接スイッチの線が断線している等のいずれかです。弊社までご連絡下さい。
SEN3 NG Reswitch On Power Supply.	<p>電源投入後、機械の原点出しの際に発生するエラーです。SEN3 の近接スイッチの ON,OFF がうまく切り替わらないために発生することが原因と考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> この近接スイッチはクランプアームの右側に取付けてあります。本体カバーとクランプアームの間に少し隙間があり、ここから近接スイッチの点灯状態が確認できます。電源を入れ、クランプアームが原点出し動作を行った後の近接スイッチの点灯状態を確認して下さい。問題ない場合は、近接スイッチが赤く点灯します。 赤く点灯しない場合は、近接スイッチの破損、近接スイッチのコネクタが外れている又は近接スイッチの線が断線している等のいずれかです。弊社までご連絡下さい。
SEN23 NG Reswitch On Power Supply.	<p>電源投入後、機械の原点出しの際に発生するエラーです。近接スイッチの ON,OFF がうまく切り替わらないために発生することが原因と考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> これは、SEN2, SEN3 の2つの近接スイッチが同時に発生した場合です。上記の方法でクランプアームが原点出し動作を行った後、両方の近接スイッチの点灯状態を確認して下さい。問題ない場合は、近接スイッチが赤く点灯します。 赤く点灯しない場合は、近接スイッチの破損、近接スイッチのコネクタが外れている又は近接スイッチの線が断線している等のいずれかです。弊社までご連絡下さい。



近接スイッチの点灯状態（左側：正常、右側：異常）

輸送時の梱包形態

修理等により本品を弊社に送付される場合は、輸送上のトラブルをできるだけ回避するために専用の梱包箱に入れてをお願いします。このため梱包箱は、保管して頂きますようお願いいたします。

梱包方法は以下の点をお願いします。

- ・ 本体底に固定ボルトを所定の位置に奥までしっかり締め付けて下さい。固定ボルトは紛失しないようお願いいたします。

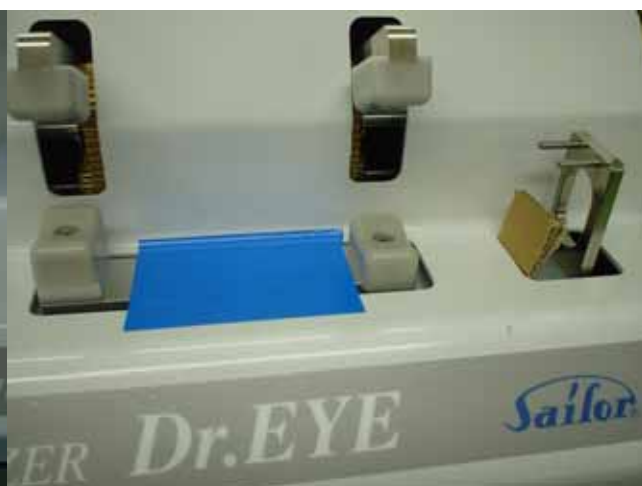


固定ボルト取付位置（左側：輸送時、右側：測定時）

- ・ 秤量皿と作用板（下側にある2つのクランプの間）は本体カバーにガムテープ等で貼り付けて固定して下さい。
- ・ 作用板に取付けてあるクラブストッパーと本体カバーとの隙間（セーラーマークのaの付近）に段ボールの切れ端のようなものはさんで下さい。はさんだときにクラブストッパーを手で動かした時に揺れなくなるような厚みにして下さい。



秤量皿固定



作用板とクラブストッパー

- ・発泡スチロールには、左右が明記してありますので方向を間違えず、4本の足がきちんと穴にはまるよう衝撃を与えないように入れて下さい（セーラーマークがある方向が右側です）。



底に敷く発泡スチロールにはB L（左）、B R（右）の文字が印字されています。

- ・本品をはさむように天側の発泡スチロールを置いて下さい。プリンターがない場合は、左側に緩衝剤のようなものを入れてください。箱を閉じて完成です。運送会社等に依頼される時は精密機械である旨をお伝え下さい。



天側の発泡スチロールにはT L（左）、T R（右）の文字が印字されています。
方向を間違えないようにして天側の発泡スチロールを置いて完成です。